



R4, 12, 1 発行

舞い散る枯葉や冷たい風に、冬の訪れを感じるこの頃。戸外散歩に出掛けるとそれぞれの移動手段で移動し、落ち葉やどんぐりなどを拾って嬉しそうに保育者を見つめたり、バケツや袋に入れて集めるなどして探索遊びを喜んでいる子どもたち。また歩行の楽しさを感じているようで、歩きたいとアピールし両腕を支えられながら歩行の練習をして笑顔を見せたり、友だちと手を繋いで歩こうと手を伸ばし、お互いに顔を見合わせ笑い合う微笑ましい姿も見られるようになってきました。園では安全に配慮しながら、子どもの発達や様子に合わせて歩き散歩を行っています。徐々に自ら足を前に出すようになってきたり、歩行が安定し歩く距離が伸びてきています。歩くことで運動機能が向上するだけでなく、興味関心から植物や虫、周囲の様々な物と出会い、その体験を通して心の成長も育むと言われています。散歩は子どもたちの興味関心を掻き立てる絶好の機会です。お子さんがどのようなものに興味を持ち、どのような反応をするのか観察しながら保護者の方も一緒に楽しんで散歩をしてみてください。



○ 今月のねらい ○



・寒い日には暖房や床暖房を使用し、室温を調節しています。子どもは体温調節が未熟のため、裏起毛などの厚手の服ではなく、ロングTシャツのご用意をお願いします。

・膝まで下げたズボンを脱ごうとしたり、袖の穴を見つけて手を通したりと衣服の着脱に興味が出てきた子どもたち。着替えがしやすいよう、伸縮性のある柔らかい素材の服をご用意して頂けると助かります。

・発語やしぐさから思いを受け止めてもらい、言葉のやりとりや触れ合いを楽しむ。



○ 活動内容 ○

- ・散歩（本園、徳親公園、赤徳公園、線路沿い など）
- ・運動遊び（またぐ、くぐる、上り下り）
- ・指先遊び（ぼっとな落とし、型はめ、クレヨン描き、粘土）